

全農機商報

昭和38年8月20日第三種郵便物認可

主な記事

- ・アルコール検知器延期決定 2面
- ・22年上半期農業景況悪化 3面
- ・秋肥補填の価格上昇率決定 3面
- ・インボイス開始まで1年 8面

第
715
号

表1. 実証事例①(中山間・集落営農法人)

	実証前	2018年		2019年	
		実証面積15ha シエアリング未実施	実証面積15ha (530kg)	実証面積15ha +シエアリング7ha	実証面積15ha (541kg)
収入	111.2 (単収) (490kg)	126 (530kg)	122.8 (541kg)		
経費	98.1	144.7	136		
種苗費	3.1	3.1	3.1		
肥料費	5.5	4.3	5.7		
農薬費	11.9	18.3	19.2		
機械・施設費	11.7	56.8	50		
人件費(1,500円/時間) (労働時間[時間/10a])	37.2 (24.8)	32.6 (21.7)	27.3 (18.2)		
その他費用	28.7	29.6	30.8		
利益	13.1	-18.7	-13.2		

(千円/10a)

表2. 実証事例②(水田と施設園芸の複合経営)

	実証前	2019年
収入	34,700	41,550
水稲	29,395	35,319
トマト	4,223	6,124
その他	1,082	108
経費	29,117	43,028
種苗費	1,500	1,134
肥料費	3,031	4,384
農薬費	865	944
機械・施設費	4,596	15,466
労働費 (労働時間)	9,990 (6,660)	7,992 (5,328)
その他費用	9,135	13,109
利益	5,584	-1,478

経営体当たり(千円)

農林水産省は「スマート農業実証プロジェクト」の初年度となる2019年度に採択した69地区について2年間の実証成果を公表した。それによると、水田作の実証30地区では総労働時間が平均9%削減され、単収は同9%増加した。しかし、一方で機械や施設費が大幅に増加したことで赤字になる事例もあった。

同プロジェクトは、採択された地区ごとに生産工程に応じて自動運転トラクタ、自動操舵システム、自動水管理システム、直進キープ田植機、食味・収量コンバイン、営農管理システム、可変施肥システム、リモコン式草刈機、ドローンなど様々なスマート農業技術を導入し、技術の実証と経営への効果を検証する農林水産省の事業。生産者グループを公募し導入経費を支援する。水稲・施設園芸・畜産など様々な品目で

スマート農業「機械導入費」が課題 労働時間9%削減・単収9%増加も 導入費増加で利益大幅減の可能性

◆スマート農業実証プロジェクトとは
システム、可変施肥システム、リモコン式草刈機、ドローンなど様々なスマート農業技術を導入し、技術の実証と経営への効果を検証する農林水産省の事業。生産者グループを公募し導入経費を支援する。水稲・施設園芸・畜産など様々な品目で

◆水田作では労働時間9%減・単収9%増加
水田作の労働時間については、実証地区の約3割で10%以上の削減が確認された。同省は、自動運転トラクタや直進キープ田植機の効果を表れた。

◆機械・施設導入費大幅増で赤字の例も(表1・2)
経営収支を公表した5経営体のうち、2つの経営体は赤字から赤字に転じた。中山間地で水稲を15畝栽培する集落営農法人(表1、組合員73名・オペレーター12名)では、労働時間が減り、単収も増えたが、機械・施設費は10万当たり5万6800円となり、実証前の5倍近くにまで上昇した。結果、利益はマイナス1万8700円の赤字となった。

水田作と園芸施設を23経営体(表2、家族4名・臨時雇用3名)も実証後は赤字から赤字に転じた。こちらも労働時間が減り、単収は水稲もトマトも増加したが、利益はマイナス1万4780円だった。この他、赤字にこそならなかったが、利益が実証前より減った事例が2件あった。

水田作以外でも利益が実証前より減少した事例があり、同省はスマート農業の導入で費用対効果を図るには、稼働面積の拡大や農機のシェアリングが欠かせないとしている。

スマート農業「機械導入費」が課題

効果が大きく、削減理由に労働時間に占める割合が高い耕起や代かき、田植え時間の短縮を挙げている。また、自動運転トラクタと直進キープ田植機の両方を導入した地区では、導入前より作業時間を平均18%削減できた。

単収については、水田ごとの収量がわかる収量コンバインや施肥量を変えられる可変施肥が増加につながったとしている。センシングデータなどに基づく可変施肥や、それに加えて品種構成・施肥設計を改善した地区で顕著に効果が見られた。

誰でも簡単、まっすぐ作業！

直進アシスト機能が
高効率、高精度な作業を実現します。

熟練者にとっては、不慣れな人には簡単に。
ヤンマーは幅広い作業に対応する「直進アシスト機能」を徹底的に追及しました。

SMARTPILOT
YT3R Series

プロモーション動画 製品情報 Facebook

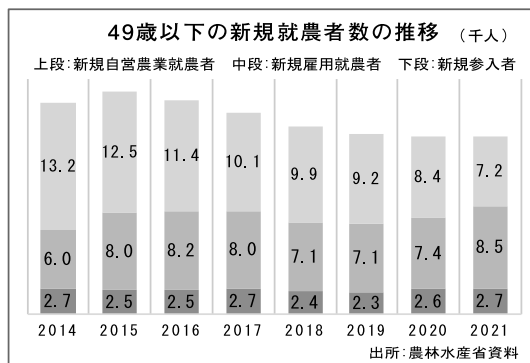
ヤンマーアグリ株式会社 www.yanmar.com

2021年新規就農者数は5万2290人

農林水産省は9月30日、2021年の新規就農者調査結果を公表した。それによると、新規就農者は5万2290人で前年比7.7%減少した。このうち、49歳以下は1万8420人で同0.2%増加した。就業形態別では、新規自営農業就農者は3万6890人で前年比8.0%減少したが、新規雇用就農者数は1万1570人で同15.1%、新規参入者は3830人で同7.0%増加した。

前年比2.7%減も雇用就農者は15%増加

◆新規自営農業就農者 190人で同14.8%減
 ◆新規雇用就農者 500人、30～39歳が50人、50～59歳が50人、60～69歳が50人、70～79歳が50人、80～89歳が50人、90歳以上が50人
 ◆新規参入者 3830人で同7.0%増加
 ◆新規自営農業就農者 3万6890人で同8.0%減少
 ◆新規雇用就農者 1万1570人で同15.1%増加
 ◆新規参入者 3830人で同7.0%増加



が19.5%となった。継承形態では「新たに親の農業経営を継承」は6.4%だった。

雇用就農者は15%増

新規就農者として新規自営農業就農者が減少している中、新規雇用就農者数は1万1570人で同15.1%増加した。49歳以下は854人で同16.0%増加した。このうち49歳以下は2690人で同4.3%増だった。

新規参入者は7%増

新規参入者は3830人で同7.0%増加した。このうち49歳以下は2690人で同4.3%増だった。

露地野菜が最多

新規参入者の就業先は露地野菜が最も多かった。新規参入者の就業先は露地野菜が最も多かった。

畜産部門では養豚が最多

畜産部門では養豚が最も多かった。畜産部門では養豚が最も多かった。

アルコール検知器を用いた酒気帯び確認の義務化は無期延期に

警察庁は、10月1日からのアルコール検知器設置義務化を正式に延期すると発表した。警察庁は、10月1日からのアルコール検知器設置義務化を正式に延期すると発表した。

2022年8月に発生した農作業死傷事故は35件

農作業機械作業に係る死傷事故30件(うち乗用型トラクタ14件・農用運搬車4件)その他5件。農作業機械作業に係る死傷事故30件(うち乗用型トラクタ14件・農用運搬車4件)その他5件。

短波

短波のニュース。短波のニュース。短波のニュース。



健康保険証を人質に、マイナンバーカードが事実上義務化される。来年秋、マイナンバーカードと健康保険証が一体化されるようだ。政府は紙の健康保険証を2024年秋にも原則廃止する方向で検討を進めている。河野デジタル大臣が13日の会見で明らかにした。

マイナ・保険証一体化。マイナ・保険証一体化。マイナ・保険証一体化。

インボイス制度開始まで1年。登録率は法人5割・個人企業1割。登録率は法人5割・個人企業1割。

10月12日は農用運搬車の事故に注意。10月12日は農用運搬車の事故に注意。

マイナ・保険証一体化。マイナ・保険証一体化。マイナ・保険証一体化。

マイナ・保険証一体化。マイナ・保険証一体化。マイナ・保険証一体化。

インボイス制度開始まで1年。登録率は法人5割・個人企業1割。登録率は法人5割・個人企業1割。

10月12日は農用運搬車の事故に注意。10月12日は農用運搬車の事故に注意。

22年上半期農業景況調査

表1. 2022年上半期農業景況DI/生産コストDI/収支DI(数値はすべて農業全体。2022年は上半期実績、他の年は通年実績)

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
農業景況DI	▲1.4	▲33.7	16.8	20.0	21.2	▲11.1	6.0	▲24.9	▲29.6	▲42.9
生産コストDI	▲62.9	▲66.3	▲44.7	▲19.1	▲25.2	▲37.1	▲38.8	▲36.2	▲68.1	▲88.0
収支DI	▲7.0	▲39.7	14.2	16.7	14.7	▲20.1	▲1.5	▲27.6	▲35.1	▲48.8
設備投資予定あり(※)	41.2	47.6	47.5	52.9	56.1	57.1	54.9	57.3	58.6	51.9

(※)は設備投資予定ありと回答した比率

(出所:日本政策金融公庫資料)

表2. 2022年8月の農業物価指数

区分	指数	騰落率	
		対前年同月	対前月
農業生産資材(総合)	119.5%	9.8%	0.3%
畜産用動物	91.8%	▲11.6%	▲2.9%
肥料	144.5%	38.4%	1.9%
飼料	147.5%	21.2%	1.0%
建築資材	135.2%	12.7%	0.5%
農産物(総合)	98.7%	0.4%	0.1%
米	77.9%	▲14.7%	0.4%
いも	130.7%	13.0%	45.2%
野菜	97.1%	16.7%	▲0.6%
畜産物	104.2%	▲2.3%	▲3.2%

(出所:農林水産省資料)

日本政策金融公庫

◆農業景況DIはマイナス幅拡大 ◆生産コストDIは過去最低水準 の▲88.0ポイント

日本政策金融公庫が担い手農業者を対象にした「農業景況調査」の今年上半期(1~6月)の結果を公表した。それによると、農業景況DIは▲42.9で、前年実績から13.3ポイント低下し、マイナス幅が拡大した。生産コストDIは▲88.0ポイントで過去最低となった。

◆農業景況DIはマイナス幅拡大・22年通期は過去最低の可能性も
農業景況DIは農業経営が「良くなった・良くなる」との回答から「悪くなった・悪くなる」との回答を引いた指数。上半期実績は▲42.9で前年から13.3ポイント低下した。また、2022年通年の景況DIの見通しは▲55.1で、上半期実績からさらに低下する見込みとなった。

◆生産コストDIは過去最低水準
生産コストDIはコストが「下がった」とする回答から「上がった」とする回答を引いた指数。上半期実績は過去最低水準の▲88.0。前年の▲68.1から19.9ポイント低下した。酪農、肉用牛、養豚、採卵鶏など畜産は軒並み▲90.0以上となり、最も高い果樹でも▲78.7と全業種で大幅なマイナス値となった。

◆収支DIは全業種でマイナス値
収支DIは収支実績が「良くなった」とする回答から「悪くなった」とする回答を差し引いた指数。上半期の収支DIは▲48.8で前年から13.7ポイント低下した。全ての業種でマイナス値となったが、生産コストDIが過去最低水準を記録したことからもわかるように、生産コスト増が農業経営に大きな打撃を与えていることが示された。

◆原材料費高騰の状況と今後の対策について
「前年比30%」
原材料費高騰の状況と今後の対策について

◆8月の農業物価指数
8月の農業物価指数は前年同月比で1割上昇。肥料・飼料の高騰で、農林水産省は9月30日、8月度の農業物価指数を公表した。農業生産資材価格指数は1

秋肥補填の算定値
価格上昇率は1.4倍
農水省
農林水産省は10月6日、肥料高騰対策について、秋肥に対する補填額の算定に必要な価格上昇率を1.4倍にすると公表した。同省の農業物価統計による8月の肥料価格の上昇率が前年同月比1.38倍だったことを踏まえて決定した。

補填額の算定方法
補填額はコスト増加分の7割で、①当年の肥料費、②前年からの肥料価格の上昇率(1.4)、③使用量低減率(0.9)から算出す

あること、②5戸以上の販売農家であることが条件となる。同省が示した施肥低減メニューは15種類。この中から2つ以上に取り組みことで、前年度から増加した肥料費の7割が補填される。注文時期が6~10月の秋肥と同11月~来年5月の来年の春肥が対象となるが、来年春肥の価格上昇率については年明け以降に決定する。

補填対象
補填は、①化学肥料の2割以上低減に取り組み農業者グループで

食と農と大地のソリューションカンパニー ISEKI

速くてカンタン

かんたんに扱える操作性と、移動から刈取のトータル作業時間を短縮した高い作業効率。コストパフォーマンスと高い性能を兼ねそろえたフロンティアラピッド誕生。

ISEKIコンバイン
Frontier Rapid





ISEKI 井関農機株式会社 NIPPON FOOD SHIFT

HVZ220 (2条刈) HVZ323 (3条刈)

「昆虫食」食べたことがある30.1%

昆虫食に関するアンケート 日本トレンドリサーチ

将来的な食糧危機への不安から「昆虫食」が注目されているという。新たなビジネスチャンスとして期待されており、無印良品やダイソーはコオロギせんべいを販売、また「昆虫食」専門の自販機の設置も増えている。IT企業が食用コオロギの養殖事業を立ち上げ、コオロギ活用事業のためのクラウドファンディングを行うなどの動きもある。

また、子供達の職業体験テーマパークとして人気の「キッズシア東京」には、コオロギパウダーを使ったポップコーンを作るコーナーがある。

こうした現状を背景に、日本トレンドリサーチが全国の男女計800名を対象に「昆虫食に関するアンケート」を実施した。

Q1. これまでに昆虫を食べたことはありますか

すか(グラフ1)

食体験の有無については、年代が上がるにつれて「ある」と回答した方の割合が増え、60代以上では42.0%がこれまでに昆虫を食べたことが「ある」と回答した。

Q2. 食べたことがある昆虫を全て選んで下さい(グラフ2)

これまで昆虫を食べたことが「ある」と回答した方に、食べた昆虫を全て選んでもらった。最も多かったのは「煮物」で44.0%、「揚げ」「炒め」も22%ほどだった。また、「その他」と回答した0.4%の方に、どの昆虫を選んだかについて質問したところ、83.4%の方が「イナゴ」と回答。次いで「蜂の子」で、この2つが圧倒的に多かった。

Q3. どのようにして食べましたか(グラフ3)

これまで昆虫食をしたことが「ない」と回答した方が9.1%は昆虫食をしてみたいと思わない理由として挙げられた。

Q4. 昆虫食をしてみたいと思いませんか(グラフ4)

これまで昆虫食をしたことが「ない」と回答した方が9.1%は昆虫食をしてみたいと思わない理由として挙げられた。

Q5. 食べてみたい昆虫を全て選んで下さい(グラフ5)

これまで昆虫食をしたことが「ある」と回答した方に、食べてみたい昆虫を全て選んでもらった。最も多かったのは「蜂の子」で50.3%、「イナゴ」で46.6%だった。

【昆虫食をしてみたいと思う理由】

- ・栄養価が高いと言われているから(30代男性)
- ・手軽にたんぱく質を得る方法として興味がある(40代男性)
- ・栄養豊富だし、バツタなどの害虫を食べれば社会貢献になると思う(30代女性)
- ・もしいずれ食料危機に陥ったらと考えるのうちに、9.1%は昆虫食をしてみたいと思う(20代女性)
- ・食が有り余っている(60代女性)
- ・食が有り余っている(60代女性)
- ・栄養価が高いし美味い(30代女性)

【昆虫食をしてみたいと思わない理由】

- ・怖いもの見たさ(70代女性)
- ・体験できるものは何でもやってみたい(40代女性)
- ・興味本位と話のタネに(50代女性)
- ・どんな味かわいなのか(50代男性)
- ・気がなる(50代男性)
- ・食べる機会がない(40代女性)
- ・おいしくなさそう(40代女性)
- ・アレルギーがあるかもしれないから(30代男性)
- ・衛生面で不安がある(50代男性)
- ・身近に販売していない(30代女性)

【調査概要】

- ▽調査手法 インターネットでのアンケート
- ▽調査期間 2022年2月17日～2月28日
- ▽集計対象人数 800名(30代以下40代・50代・60代以上各年代男女各100名)

【調査会社】

日本トレンドリサーチ(運営会社:株式会社)

◆昆虫食は栄養満点

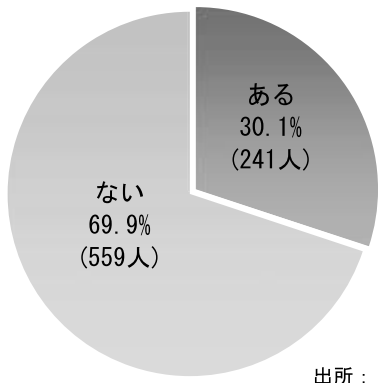
たんぱく質は牛肉や鶏肉の3倍以上

徳島県でコオロギの養殖と商品開発・販売を行う「グリラス」によると、コオロギは栄養価が高い。乾燥コオロギ100グラム当たりのたんぱく質の量は、およそ76グラム。ニワトリや牛の3倍以上。その他、現代人に不足しがちなビタミン

やミネラル、食物繊維をはじめ、数多くの栄養が詰まっている。◆昆虫食が将来の食料危機を救う? 世界市場は14倍以上との予測も

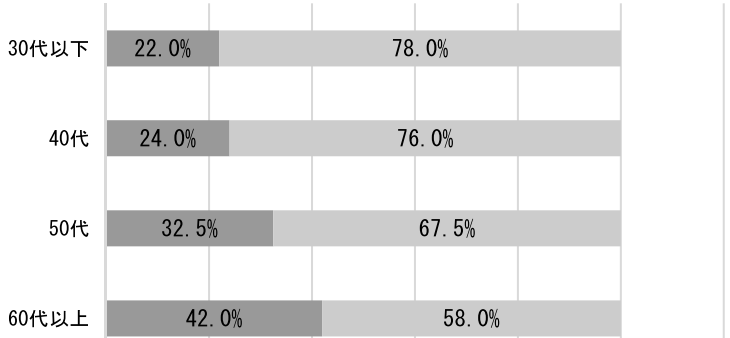
国連によると今後、人口は世界的に増加し、2030年には19年から10%増え、およそ85億人になり、重要な栄養素である牛肉や豚肉などのたんぱく質の供給が間に合わなくなる。日本能率協会総合研究所は、世界の昆虫食市場は2025年度におよそ1000億円となり、19年度実績70億円の14倍以上になると推計している。

グラフ1-1. これまでに昆虫を食べたことはありますか



出所: 日本トレンドリサーチ

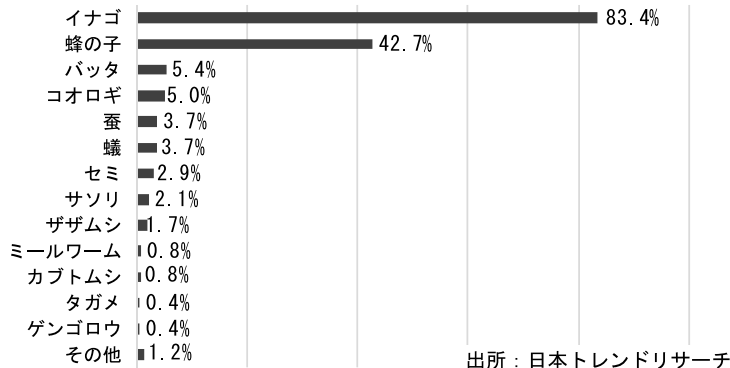
グラフ1-2. これまでに昆虫を食べたことはありますか



(左) ある ・ (右) ない

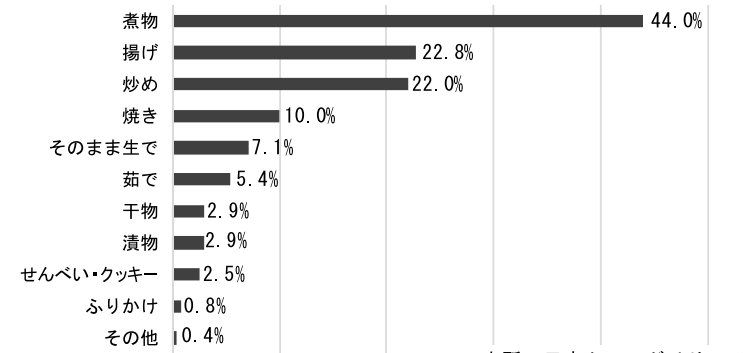
出所: 日本トレンドリサーチ

グラフ2. 食べたことがある昆虫を全て選んで下さい(複数回答可)



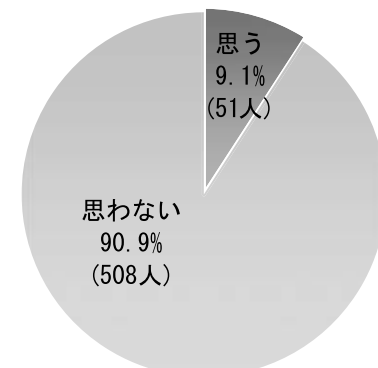
出所: 日本トレンドリサーチ

グラフ3. どのようにして食べましたか(複数回答可)



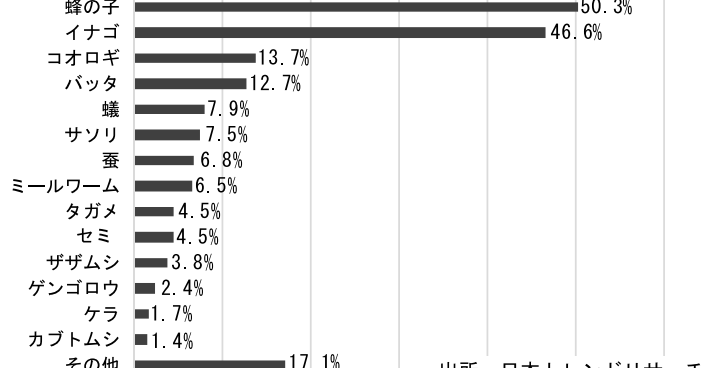
出所: 日本トレンドリサーチ

グラフ4. 昆虫食をしてみたいと思いませんか



出所: 日本トレンドリサーチ

グラフ5. 食べてみたい昆虫を全て選んで下さい(複数回答可)



出所: 日本トレンドリサーチ

世界情勢背景に食料自給率「不安」76%

農業に関する意識調査 (株)トラストバンク

ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」を企画・運営するトラストバンクが9月15日に「農業に関する意識調査」の結果を発表した。7割以上が食料自給率に不安があると回答し、そのうちの9割が最近の世界・社会情勢を理由に挙げた。

◇農業に関心「あり」は43・7％・年代別では20代が最多(グラフ1・2)

農業に関心があるかどうかの質問については、「そう思う」「ややそう思う」との回答が合わせて43・7％。対して、「あまりそう思わない」「そう思わない」「分からない」の合計は51・5％。半数以上は農業に関心がないと回答した。

◇最近の物価高騰によって農業に対する関心が高まりましたか(グラフ3)

関心がある人に、最近の物価高騰によって農業への関心が高まったか聞いたところ「そう思う」と「ややそう思う」の合計は51・5％。半数以上は「そう思う」と「ややそう思う」の合計が92・5％だった。

◇食料自給率に不安を感じる人は約8割・世界/社会情勢の高まりが理由9割超(グラフ6・7)

「日本の食料自給率に不安を感じますか」との質問に対して、「そう思う」「ややそう思う」と回答した合計は全体の76・4％。また、食料自給率に不安を感じる人のうち、「現在の世界/社会情勢によって不安が高まった」と回答した割合は92・5％だった。

◇農業の短期ボランティアや短期就労の体験意向「あり」は20代前半が最多(グラフ4・5)

意向について「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合は、全体では36・8％。年代差が大きく、20代は52・6％と唯一、半数を超えた。さらに20代前半(20〜24歳)に絞ると64・1％が実施意向ありだった。

◇第一次産業で想起する都道府県は農業と漁業では北海道、林業は長野県が最多(表1)

第一次産業(農業・漁業・林業)で最も関心のある産業について「農業」と答えた人が最も多かった。また、第一次産業ごとに思い浮かぶ都道府県については、農業・漁業はともに一位が北海道で二位が青森県、林業は長野県が一位だった。

表1. 第1次産業ごとにどの都道府県が最初に思い浮かびますか

産業区分	1位	2位	3位
農業	北海道	青森県	秋田県
漁業	北海道	青森県	宮城県
林業	長野県	北海道	秋田県

出所: トラストバンク

調査概要

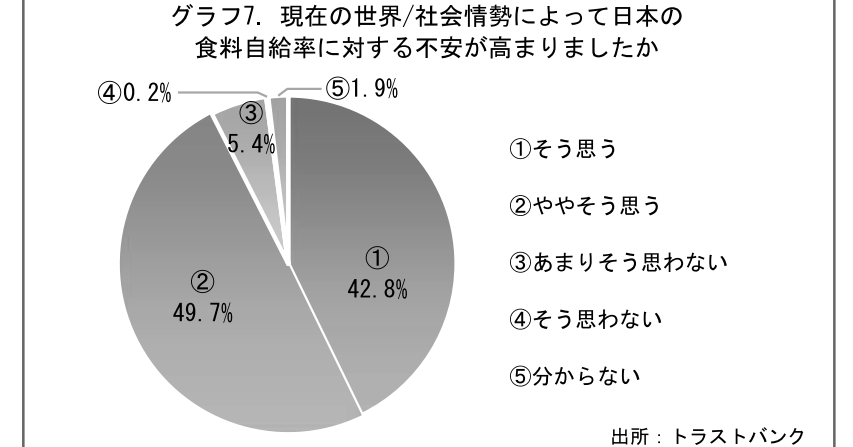
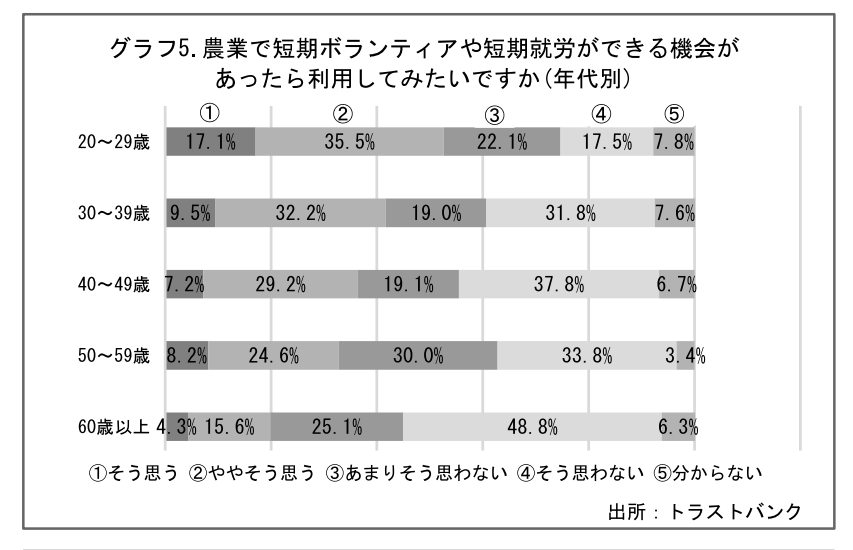
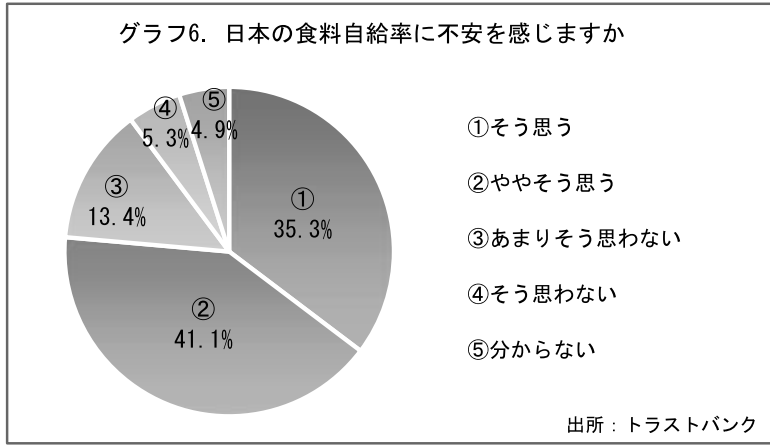
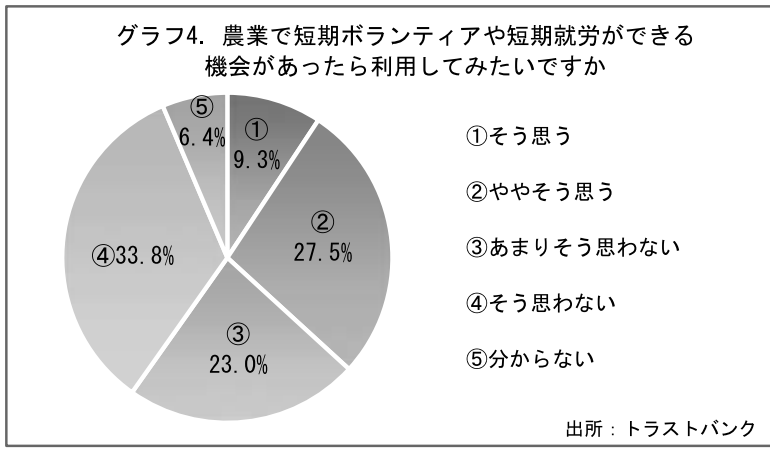
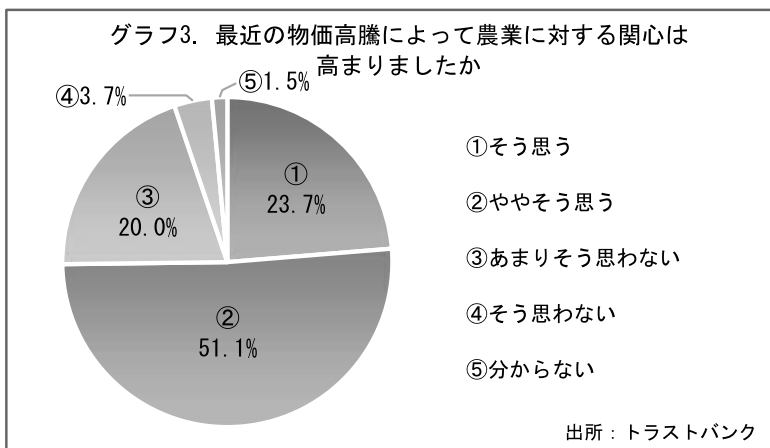
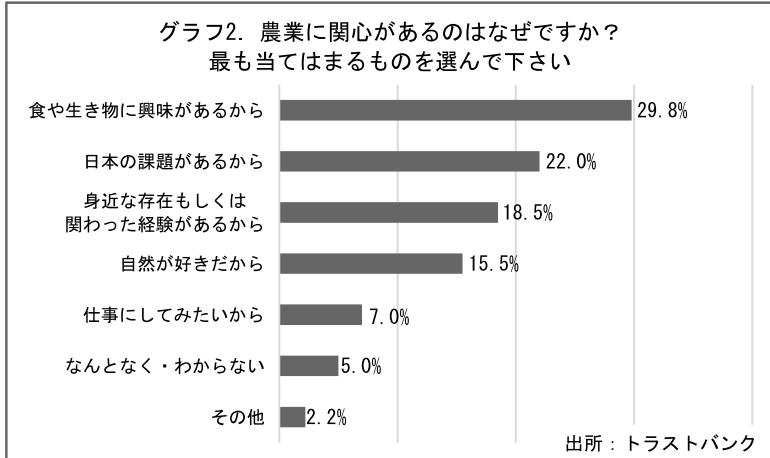
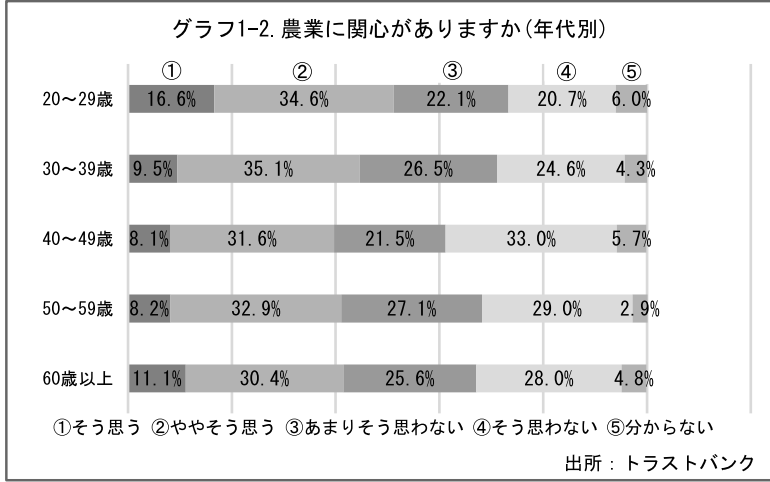
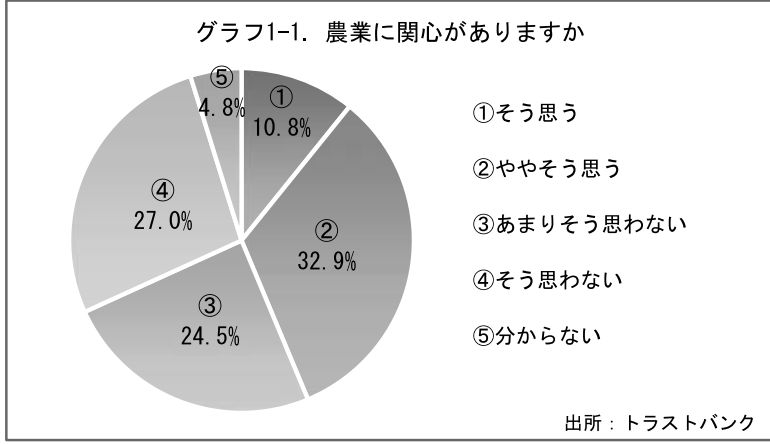
調査対象: 全国に住む20歳〜60歳

調査方法: インターネット調査

調査期間: 2022年9月2日〜9月7日

今回の調査は地域の新たな可能性を発掘し、持続可能な社会づくりのヒントを提供する「トラストバンク地域創生ラボ」による第3回調査。

株式会社トラストバンク。国内最大級のふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」を企画・運営している。



購買情報

ジャスト チップソー不要期キャンペーン

25枚(1箱)につき1枚サービス

《開催期間》
2022年11月1日～23年1月31日
出荷分まで



■対象商品

品名・規格	寸法 (W×L×H mm)	品名・規格	寸法 (W×L×H mm)
エコノミー	9インチ 230×2.0×25.4×36P	でかチップ	9インチ 230×2.2×25.4×32P
	10インチ 255×2.0×25.4×40P		10インチ 255×2.2×25.4×36P
軽量	9インチ 230×2.0×25.4×36P	めちやかる	9インチ 230×2.2×25.4×32P
	10インチ 255×2.0×25.4×40P		10インチ 255×2.2×25.4×36P
軽量お椀型	9インチ 230×2.0×25.4×36P	楽らく	9インチ 230×2.0×25.4×32P
	10インチ 255×2.0×25.4×40P		10インチ 255×2.0×25.4×36P
スペシャル60	9インチ 230×2.0×25.4×60P		
	10インチ 255×2.0×25.4×60P		

ケイエイチファイ 除雪機カバーキャンペーン

通常価格の7～8%引き

《開催期間》
2022年11月1日～12月27日
ご注文分まで



- ◇ 1枚から出荷可能。但し、梱包未满是別途送料1,600円(税抜)
- ◇ 色はオレンジかブルーを選択(但し、ブルーは受注生産)
- ※納品時期について
オレンジ色については顔料不足のため、お渡しは11月後半になります

■対象商品

品名・規格	寸法(W×L×H 単位mm)	梱包枚数
SS型	650×1,450×940	5枚
S型	800×1,600×1,070	5枚
M型	930×1,800×1,410	5枚
L型	1,180×2,500×2,050	3枚

価格改定のお知らせ

今期に入り、多くの商材で価格改定をさせて頂いたため、現在においても原材料価格や原油価格の高騰に起因する製造コストの上昇および輸送コストの上昇が続いていることから、10月22日よりスチール、11月1日よりアルミスと阿部商会の取扱商品を値上げさせていただきます。

▽スチール
〈対象商品〉
各種オイル
《価格改定日》
10月22日出荷分より

▽アルミス
〈対象商品〉
全商品(アルミブリッジ/育苗箱/電動台車/リヤカー/ファームガードなど)
《価格改定日》
11月1日注文分より

▽阿部商会
〈対象商品〉
TRELEBOR
G及びBKTのタイヤ、チューブ、フラップ
《価格改定日》
11月1日出荷分より

天然系スクラブ剤配合の環境対応型手洗い洗剤 アロエローヤルエコ本体2.5kg 特価セール 12月末まで開催中!

—ファームエコクリーン後継品です—



本体2.5kg
品番：S-3000

1. 中性で保湿剤配合なので手に優しい
2. でんぷん由来の天然系スクラブ剤配合で地球に優しい
3. 頑固な油汚れもスッカリ

※水を付けず本剤を手に取りよく擦り合わせた後、水で洗い流して下さい。

《詰替用タイプもご用意》



詰替2.5kg
品番：S-3001

詰替16kg
品番：S-3002

「アロエローヤル」に関するお知らせ

アロエローヤルは、配合原料のポリエチレン製スクラブ剤が廃番のため在庫限りの販売となります。現在「アロエローヤル」をご使用の方は、天然系スクラブ剤配合の「アロエローヤルエコ」への切り替えをお願いいたします。

※「アロエローヤル」と「アロエローヤルエコ」で、価格・洗浄力に違いはありません。

鈴木油脂工業株式会社
〒533-0021 大阪府大阪市東淀川区下新庄1-8-23
TEL:06-6326-1118

購買情報

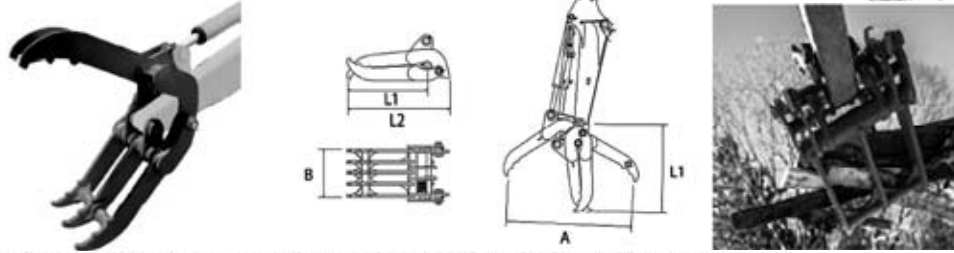
KBL決算大幅値下げセール開催中 2022年11月30日ご注文分まで

KRフォーク (2点止め機械式フォーク)

簡易フォークの決定版
 ・ピンブッシュの交換で様々な機種に簡単取付、各部に特殊鋼を使用し強度UP(当社比)
 ・KR10~KR40迄の爪先(つかみ部)は対象が見やすい構造
 ・KR60~の爪先(つかみ部)は強靱なボックス構造



製品紹介ページ



■標準塗装色:KRレッド ■本体アーム破損を防ぐ為に、必ずアーム補強をお勧めします。
 ■アーム補強板1枚付き ■本品は簡易2点止め式フォークです。重作業にはお勧めできません。

オペレーターシート

ST0064S1

仕様 ・スライドレール付
 ・はね上げ式(金属材質)
 対応機種 ・キャリア・トラクター
 ・2tクラス以下のミニショベル等



18,000円
19,800円

■KRフォーク 特価

商品名	クラス	希望小売価格(税抜)
BA020KR	2.0-2.7 t	264,000円
BA030KR	3.0-3.8 t	284,200円

■オペレーターシート

〈特典〉1台から元払い&粘着合皮シートサービス

商品名	用途	希望小売価格(税抜)
ST0064S1	・農業機械 ・建設機械 ・産業機械	18,000円
ST1090S1		24,000円
KG1071K		36,000円
KG0065		34,000円
KG0066A		39,000円
ST0201	・フォークリフト	123,000円
ST0203		126,000円
ST0204		110,000円
ST0205		110,000円

洗浄機用ホース



1/4 (2分)、3/8 (3分) 高圧洗浄機用ホースの製作を承ります。両端ナット金具に種類が異なりますので、右図より選定お願い申し上げます。



洗浄機用ホース 1/4(2分)

■備考
 1/4(2分)ホース内径:6mm
 ナット二面幅:19mm
 ホース耐圧:22.5Mpa (229kgf/cm²)
 ホース耐熱:-40℃~100℃

※ホース取付部FU/GUご指定をお願いします。

サイズ/長さ	希望小売価格(税別)	希望小売価格(税込)
1/4×10m	31,900円	35,090円
1/4×15m	44,700円	49,170円
1/4×20m	57,500円	63,250円

洗浄機用ホース 3/8(3分)

■備考
 3/8(3分)ホース内径:9.5mm
 ナット二面幅:22mm
 ホース耐圧:20.7Mpa (211kgf/cm²)
 ホース耐熱:-40℃~100℃

※ホース取付部FU/GUご指定をお願いします。

サイズ/長さ	希望小売価格(税別)	希望小売価格(税込)
3/8×10m	38,200円	42,020円
3/8×15m	53,600円	58,960円
3/8×20m	69,000円	75,900円

GENERAL バイアスタイヤ



新開発バイアスタイヤ

優れた走行安定性と操縦性
 最高のクロスプライ設計とラジアルプライ設計を兼ね備えたV.Plyテクノロジー
 レースタイヤ技術からインスパイアされたポリマーファイバーがV.Plyに配合。低転がり抵抗と高い耐久性を実現。



GENERAL 前・後輪兼用

湿気の多い条件や柔らかい土壌で非常に優れた性能を発揮します。トレッドエリアに分散された高転がり抵抗は、卓越した操縦性を生み出したトラクションに貢献します。強力なサイドウォールによって、タイヤのパンクやカットなど早期故障を大幅に削減します。



在庫処分大特価

サイズ	希望小売価格(税抜)
9.5-24 8PR	51,800円
11.2-24 8PR	58,200円
12.4-24 8PR	73,800円

SIGNET

モビリティボックス

MOBILITY BOX CP70-2A

軽量設計、縦持ち可能で持ち運び用に最適



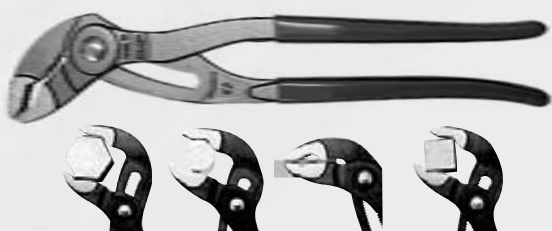
メタルボックス

METAL BOX CP70-2B

フリースペース付で大容量収納



※メタルボックスと工具一式は別箱入です。



KNIPEX ウォーターポンププライヤー付

1/2 58pcsの工具セットに便利なウォーターポンププライヤーをお付けした限定モデルです。

少ない力でパイプやナットを確実につかむ平行四辺形のアゴ形状を擁し、アゴの開きの調整はプッシュボタンにて行うため、作業中は不意に口幅が変わらず早く快適な作業を確約致します。3枚合わせのボックスジョイントを採用することでジョイント部の横方向へのブレを防止し作業効率向上を実現しました。

インボイス制度開始まで1年

開始日から適用を受けるには来年3月31日までに登録を

23年10月1日スタート

2023年10月1日からインボイス制度が開始されるが、開始日から適用を受けるには来年3月31日までに税務署へ「適格請求書発行事業者」の登録申請書を提出しなければならない。同制度は仕入税額控除の可否に関わってくるため、社内準備だけでなく、取引先の登録有無を確認する必要がある。

◇インボイス(適格請求書)発行には事前登録が必要

仕入税額控除を受けるために必要な適格請求書を発行するには、事前に申請書を税務署に提出し、税務署長の審査を受けた「適格請求書発行事業者」になる必要がある。但し、登録できるのは課税事業者のみで免税事業者(1年間の課税売上高が1000万円以下の事業者)は対象外となる。

免税事業者が適格請求書発行事業者となるためには、「課税事業者選択届出書」を税務署に提出し、課税事業者にならないければならない。

◇インボイス開始後の仕入税額控除について

◇制度開始後は適格請求書がないと仕入税額を控除できない

仕入税額控除とは、売上時に受け取った消費税額から仕入れや経費にかかった消費税額を納税額から控除する制度のこと。インボイス制度導入後は、適格請求書が発行された取引のみ仕入税額控除の対象となるため、適格請求書の発行がないと買い手側は仕入税額控除を受けることができない。仕入れや経費に掛かった消費税額を差し引くことができず、事業者は売上時に受け取った消費税額をそのまま支払うことになり、税負担が増えてしまう。

インボイス(2023年10月1日～)

請求書	
〇〇(株)御中	(株)〇〇(T1234...)
●年●月分	
●月●日 割りばし	550円
●月●日 牛肉	※5,400円
合計	5,950円
10%対象	550円
8%対象	5,400円
※は軽減税率対象	内税50円 内税400円



区分記載請求書(現行)

請求書	
〇〇(株)御中	(株)〇〇
●年●月分	
●月●日 割りばし	550円
●月●日 牛肉	※5,400円
合計	5,950円
(10%対象)	550円
(8%対象)	5,950円
※は軽減税率対象	

△免税事業者等からの課税仕入れに係る経過措置

制度が開始される23年10月1日から適用を受けるには、23年3月31日までに登録申請書を税務署に提出する必要がある。

◆インボイス制度(適格請求書等保存方式)とは
インボイス制度とは、請求書の発行や保存に関する新しい制度のこと。正式名称は「適格請求書等保存方式」。一定の要件を満たした「適格請求書(インボイス)」に基づき消費税の「仕入税額控除」を計算し、証拠資料として保存する仕組み。制度開始後は適格請求書がなければ仕入税額控除を受けられなくなる。

◇開始日から適用を受けるには23年3月31日までに登録を

仕入税額相当額の50%

①23年10月1日～26年9月30日
仕入税額相当額の80%

では原則、仕入税額控除ができない。但し、経過措置として制度導入から3年間は、現行の「区分記載請求書等」でも一定割合の仕入税額控除が認められている。

For Earth, For Life
Kubota

カルウェイ
KALWAY
その先の笑顔へ。

3条刈
KR321 / KR323

2条刈
KR217 / KR220

全面楽刈

楽刈ボタン

楽刈フィット

楽ラク13つの機能 楽刈3点セット

NEW

作業がより安心に! 手こぎあんしん機構

NEW

工具無しで簡単! 刈取部詰まり解除

KALWAY(カルウェイ)の
スペシャルムービーはコチラから!

株式会社クボタ 〒556-8601 大阪市浪速区数津東1丁目2番47号
クボタ 農業機械 検索 https://agriculture.kubota.co.jp/
みんなの農業広場 検索 https://www.jeinou.com

安全宣言
安全はクボタの願い